



あかまつ



明るくあいさつ
笑顔あふれる
加須西中！

加須市立加須西中学校
学校だより 9月号
令和8年9月1日
生徒数 280名

＜学校教育目標＞ ○本気で学ぶ生徒 ○友達を尊重し仲良くする生徒 ○自ら心身を鍛える生徒
＜目指す学校像＞ 「夢や希望を育み信頼される学校」

子育ての秘訣、親はわが子の困り感に向き合っているか？

校長 青木 久永

令和8年熊本地震、令和8年8月千葉豪雨により、被災された皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

戦後81年、猛暑の夏休みが終わり、たくましくなった生徒たちが、自分の目標を達成し、学校に戻ってきました。

さて、9月は不登校、いじめ、児童生徒の自殺が多く、1年のうちでも4月と並んで配慮を要する月の一つです。

文科省が令和6年度に行った調査によると、小中学生の不登校は35万3970人。小学生13万7704人、中学生21万6266人で過去最多。小・中・高・特別支援学校におけるいじめの認知件数は76万9022件。前年度比3万6454件(5%)の増加。増加の背景は、いじめ防止対策推進法におけるいじめの定義やいじめの認知に対する理解が広がったこと、アンケートや教育相談の充実等による見取りの精緻化、いじめの積極的な認知等が考えられます。

また、小・中・高から報告のあった自殺した児童生徒数は413人(前年度397人)で、極めて憂慮すべき状況です。そのため、本校は8月の職員会議において、生徒の情報を全職員で共有し、保護者、専門家、関係機関と連携し、「意識・組織・かかわる」をキーワードに、組織的な生徒指導・教育相談体制について、確認しました。

この夏、宮口幸治『ケーキの切れない非行少年たち』(新潮新書、2019年)を読みました。宮口氏は立命館大学教授の児童精神科医です。多くの非行少年と出会う中で、「反省以前の子供」が多い事実気付きます。少年院には認知力が弱く、「ケーキを等分に切る」ことができない非行少年が大勢います。しかし、問題の根深さは、普通の学校でも同様で、発達や学習の遅れ、発達障害、自傷行為、暴力行為、いじめ、不登校、非行、親の不適切養育など、複雑な様相を呈しています。宮口氏は、相談の事例として、次のような子供の振る舞いや特徴を挙げています。

- ☐感情のコントロールが苦手ですぐにカッとなる。
- ☐人とのコミュニケーションがうまくいかない。
- ☐集団行動ができない。
- ☐忘れ物が多い。
- ☐集中できない。
- ☐勉強のやる気がない。
- ☐やりたくないことをしない。
- ☐嘘をつく。
- ☐人のせいにする。
- ☐じっと座ってられない。
- ☐身体の使い方が不器用。
- ☐自信がない。
- ☐先生の注意を聞けない。
- ☐嫌なことから逃げる。
- ☐その場に応じた対応ができない。
- ☐漢字がなかなか覚えられない。
- ☐計算が苦手。

これらは、普通の学校で困っている生徒だけの特徴ではなく、少年院の非行少年が、小学生の頃に経験した特徴と「ほぼ同じ」共通点がある」と宮口氏は述べています。その背景には、知的障害や発達障害など、その子に固有の問題のほか、家庭内での不適切養育、児童虐待、ヤングケアラー等、家庭での生育環境の問題が潜んでいます。

ここで問題なのは、特別な支援を要しながら、「保護者にも気付かれず」「社会でも気付かれないまま放置」されている「(学力が)クラスの下から5人」の生徒です。本人は困っているにもかかわらず、「病名がつかない」ため、非行化が懸念されていても、困り感や生きづらさに気付かれないまま、「警察に逮捕されている」という現実です。

学校が特別支援教育を勧めても、子供の発達の特性や困り感と向き合おうとしない親もいます。その結果、子供が不登校になったり、ストレスからいじめの加害者になったりするなど、不適応行動を起こす例も見られます。

これに関連して、ある司法関係者が記した「子供を非行化させるコツ教えます！ こうすれば子供は非行に走る10か条」があります。少々過激ですが、興味深いので紹介します。(平成15年8月12日、読売新聞夕刊)

- ①幼い時から冷たく放りっぱなしにせよ。
- ②欲しいと言ったら何でもすぐ買い与えよ。
- ③間違いや失敗は理由を問わず叱り飛ばせ。
- ④どこで何をしようが気にとめるな。
- ⑤よその子や兄弟と比較して、お前はバカだ、誰々を見習え、を連発せよ。
- ⑥忙しいのに食卓の団らんなど無駄。
- ⑦善いことや努力してもめったに褒めるな。
- ⑧子供の前では決して夫婦間の意見を一致させるな。
- ⑨お金こそ人生の全てと身をもって教え込め。
- ⑩子供の前で常に法律・警察・学校・役所の悪口を言い、社会のきまりや公共機関への敵意を植え付けよ。

該当する項目はあった(なかった)でしょうか？ 親が10か条と真逆のことをしていれば、子は健全に育ちます。

以前、こんな言葉を聞いたことがあります。「子供は親の言うとおりににはならない。親のするとおりになる」。「〇〇しろ」「〇〇しろ」と、いくら口で言っても、子供は言うことを聞いてくれない。しかし、親の態度はまねるようになる。

これぞ子育ての秘訣。これを機に、これまでの親子の関係を見直してみませんか。まだ間に合います。

郷土芸能部・合唱団の活動

7月18日(土)の加須どんとこい祭りにおいて、郷土芸能部がお囃子を披露しました。OB、OGも参加し、「ひっかせ」という形で昭和中の生徒と競い合うように演奏を行いました。また、合唱部と有志による西中合唱団が、8月5日(水)にNHK全国学校音楽コンクール地区予選に、8月23日(日)に埼玉県合唱コンクールに、それぞれ出場しました。両コンクールとも素晴らしいハーモニーを響かせてくれ、埼玉県合唱コンクールでは優良賞・奨励賞を受賞しました。



夏季休業中の教職員研修

7月28日(火)に、羽生病院の方々を講師にお迎えし、救急救命に関する講習と心肺蘇生の実技について受講しました。トレーニング用のAEDを使用し、実際と同様の手順で心肺蘇生を行いました。また、今年度実施した埼玉県学力・学習状況調査の結果分析を8月25日(火)に行いました。生徒の学力の伸びや非認知能力などの状況について確認し、今後の学力向上に向けてどのように取り組めばよいかについて、方策等検討を行いました。



夏季休業中の小中連携

8月19日(水)～20日(木)にかけて、礼羽、不動岡、志多見の各小学校の6年生児童が、秋の市内陸上大会に向けて本校の陸上部の顧問、生徒と一緒に活動しました。各小学校の校長先生や保護者が見守る中、参加した児童生徒は皆、一生懸命活動していました。よい記録が出せるよう、頑張ってください。



9月の行事予定

日	曜	行事予定	備考
1	火	給食開始 定時退勤ウィーク 木1～5+火6授業	部活動なし
2	水	第2回東部地区テスト(3年) 貧血検査(2年) 火1～5授業	部活動なし
3	木		部活動なし
4	金	学年朝会	部活動なし
5	土		
6	日		
7	月		部活動なし
8	火	登校指導 中学生学級	
9	水		B日課
10	木		
11	金	生徒朝会 高校入試等説明会 親子除草 PTA本部役員・理事・体育 合同会議	
12	土	テスト前部活動停止期間(～16日)	部活動なし
13	日		部活動なし
14	月		部活動なし
15	火		部活動なし
16	水	中間テスト	部活動なし
17	木	体育祭練習開始	
18	金	全校朝会 全校除草	
19	土		
20	日		
21	月	敬老の日	
22	火	国民の休日	
23	水	秋分の日	
24	木	専門委員会	B日課
25	金		
26	土		
27	日		
28	月	秋季北埼玉地区大会(陸上競技) 部活動あり	
29	火		
30	水	秋季北埼玉地区大会1日目 50分×3時間授業	